



Aquaculture
Stewardship
Council



September 2022

ASCニュースレター



ASC CoC認証追加要件 日本語翻訳版公開



先月お伝えしましたASC CoC認証追加要件の日本語翻訳版を公開いたしました。ASCは、2023年5月30日より、加工・流通過程（CoC）の追加要件の運用を開始します。

ASCでは、このCoC認証追加要件がASCロゴを頼りにするプログラム参加者と顧客に、より大きな価値とより高いレベルの保証を提供するものだと確信しています。

企業・団体様からの質問を集めたよくあるご質問をまとめました。

FAQリンク: <https://www.asc-aqua.org/wp-content/uploads/2022/09/ASC-CoC-Module-v1.0-FAQs.pdf>

FAQの日本語翻訳版は後日公開

ご質問等ありましたら、渉外担当：松井までご連絡ください。

Daisuke.Matsui@asc-aqua.org



日本語翻訳版は画像をクリック



ASC養殖場基準 魚の健康・福祉と底生動物への影響に関する要件



先日もお伝えいたしましたが、2022年9月1日から10月31日まで、ASC養殖場基準の改版における2つの主要テーマ、「魚の健康・福祉」と「底生動物に及ぼす影響」に関する要件のパブリックコンサルテーションを開始しました。

このコンサルテーションは、特に、生産者、一次加工業者、審査員などから、提案された要件の実質的な影響と審査の適合性に関するフィードバックを収集するとともに、提案全体に対する利害関係者の意見を理解することを目的としています。

ステークホルダーは、10月31日（月）までフィードバックを提供することができます。

ニュースの詳細は[こちら](#)から。

以下は英語のみの提供となりますが、ご興味のある方は是非ご参加ください。

- **コンサルテーションの詳細は[こちら](#)から**
- **フィードバックウェビナーの申し込みは[こちら](#)から**
- **[コンサルテーションアンケート](#)をご記入ください**

その他、ご意見がある方は別途個別でミーティングをさせていただきたいと思いますので、是非ご相談ください。



グローバル・シュリンプ・フォーラム開催報告



ASCはシュリンプ・インサイト、コンタンゴと共同でグローバル・シュリンプ・フォーラムを、2022年9月6日から8日に、オランダ、ユトレヒトにて開催し 35 か国から 400 人以上の参加者が集まり、温水域（非冷水系）エビ業界とし初めてのグローバル会議を行いました。

エビ産業のレジリエンスを高め持続可能な未来に向かうよう推進させることを目的としエビ産業の生産、マーケット、価格の展望、サプライチェーン、イノベーションとテクノロジー、社会面、およびファイナンス・投資など多岐にわたるテーマごとに、世界のグローバルリーダーを迎えて議論を行いました。



Global Shrimp Forum

報告動画リンク(vimeo) : <https://vimeo.com/748661424>

ASC とシーフードレガシーが覚書を締結



ASCは株式会社シーフードレガシーと情報交換やメディア連携を強化するとともに、産地とマーケットの連携、国内外の流通チャンネルの開拓を今後さらに一層強化して協働出来るよう覚書を締結しました。

これによりお互いの組織の長所を活かし日本で環境持続性や社会的責任を追求する養殖水産物の割合を増やすと同時に、日本の責任ある養殖水産物を海外のマーケットにも広げ、日本の水産業界全体が持続可能かつ責任あるものになることを目指します。



左：花岡 和佳男様
株式会社シーフードレガシー
代表取締役社長

右：山本 光治
ASCジャパン
ゼネラルマネージャー

詳しくはこちら → https://jp.asc-aqua.org/wp-content/uploads/sites/9/2022/09/ASCJapan_SFL_MoU_20220914.pdf

第7回オーガニックライフスタイルEXPO2022



ASCジャパンは、9月16日から18日まで、東京都立産業貿易センターで行われた「第7回オーガニックライフスタイルEXPO2022」に初めて協賛として出展しました。来場者は約14,000人でした。

ASC認証された商品を並べ、オーガニックライフにご興味がある来場者にASCラベルを知っていただけるよう、お声がけをし、「このラベル、スーパーで見たことがある！」といったお声をいただいた時には大変嬉しかったです。ASC認証のエビには、「抗生物質が使われていないのね！」と驚きの声もあり、今後は気を付けてラベルを探してみるという嬉しい反応もありました。

今回はASC単独のセミナーの他、「アニマルウェルフェア（AW）サミット」セミナーにも登壇させていただきました。畜産業と水産養殖業のAWに関する共通課題と相違点を議論しました。



国内ASC養殖場認証取得数



2022年9月1日現在、国内養殖場の認証取得状況をお知らせします。

82養殖場（**14**件） 審査中養殖場：19養殖場（1件） ★[ウェブサイト](#)からもご覧いただけるようになりました★

企業数 (取得順)	養殖場数	生産企業・漁協	所在地	魚種	ラテン名（英語名）	認証状態
1	5	宮城県志津川漁協戸倉	宮城県	牡蠣	<i>Crassostrea gigas</i> (Pacific cupped oyster)	取得
2	3	黒瀬水産（日本水産）	宮崎県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
3	1	グローバルオーシャンワーク	鹿児島県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
4	62	宮城県漁業協同組合 石巻地区支所・石巻湾支所・石巻市東部支所	宮城県	牡蠣	<i>Crassostrea gigas</i> (Pacific cupped oyster)	取得
5	1	アクアファーム（マルハニチロ）	大分県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
6	1	ユーグレナ	沖縄県	ユーグレナクロレラ	<i>Euglena gracilis</i> (Euglena) <i>Chlorella sorokiniana</i> (Chlorella)	取得
7	1	鹿児島県東町漁協	鹿児島県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
8	1	奄美養魚（マルハニチロ）	鹿児島県	カンパチ	<i>Seriola dumerili</i> (Greater amberjack)	取得
9	1	ジャパンサーモンファーム	青森県	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i> (Rainbow trout)	取得
10	1	FRDジャパン	千葉県	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i> (Rainbow trout)	取得
11	1	マルキン	宮城県	銀鮭	<i>Oncorhynchus kisutch</i> (Coho salmon)	取得
12	1	ダイニチ	愛媛県	マダイ	<i>Pagrus major</i> (Red seabream)	取得
13	2	弓ヶ浜水産株式会社	鳥取・新潟	銀鮭	<i>Oncorhynchus kisutch</i> (Coho salmon)	取得
14	1	熊本県海水養殖漁業協同組合	熊本県	マダイ	<i>Pagrus major</i> (Japanese seabream)	取得
(15)	19	宮城県漁協北上町十三浜支所青年部グループ	宮城県	ワカメ・コンブ	<i>Undaria pinnatifida</i> (Wakame) <i>Laminaria japonica</i> (Kelp)	審査中

認証済および審査中の養殖場



認証済		審査中		認証済		審査中		
アワビ	49	6	ブリ・スギ	17	1			
二枚貝	364	127	エビ	482	634			認証済 合計
カレイ目の魚類	1	9	ティラピア	37	3			1,778
パンガシウス	41	4	淡水マス	6	4			審査中 合計
サケ	612	108	熱帯魚類	88	34			969
スズキ・タイ・オオニベ	60	12	海藻*	21	28			

* ASC/MSC
基準の海藻

魚種別による認証生産量



魚種	生産量 (mT)	魚種	生産量 (mT)
アワビ	1,958	ブリ・スギ	3,726
二枚貝	153,572	エビ	330,084
パンガシウス	111,636	ティラピア	117,086
サケ	1,355,758	淡水マス	6,112
スズキ・タイ・オオニベ	49,544	熱帯魚類	34,945
海藻	387	認証済 合計	2,164,808

ASC認証データ



- ASC養殖場認証取得者数
世界：1778（前年 1544）
国内：82（前年 90）
- ASC CoC認証取得者数（標準）
世界：2836（前年 2618）
国内：182（前年 データの移行関係で
データ抽出できず）
- ASCロゴ付き消費者向け製品数
世界：23,210 製品
国内：487 製品

CoCリスト

ASC商品を取り扱っている国内のCoC企業
（182社）9月1日現在

日本語のCoCリストを作成しましたので、ご
興味のある方はダウンロードしてください。



こちらより
ダウンロードできます

ASC認証に関する商品/メニュー/サービス PR コーナー開始



毎月のニュースレターに、商品/メニュー/サービスに関するPRコーナーができました。CoC認証を取得している企業や認証水産物に興味のある企業の担当者全員へ送っているのので、主要マーケットへダイレクトに宣伝することができます。

毎月、先着順にて掲載させていただきます。この機会に是非ご利用くださいませ!



【お申し込み方法】

ご希望の方は以下のファイルに必要情報を記入し商品や参考画像と共にお送りください。

<https://www.asc-aqua.org/wp-content/uploads/2020/06/ASC-Product-PR-Sheet.xlsx>

担当: 松井(daisuke.matsui@asc-aqua.org)

きじま うみさち.com



横浜市を中心に5店舗を構える和食店きじまの公式通販サイト「うみさち.com」。鮮度抜群の海の幸をはじめとして、有機栽培/自然栽培の農産物やアニマルウェルフェアに配慮して育てられた畜産物などの安心・安全で価値ある素材を、伝統的製法で作られた安心安全な無添加の調味料を用いて調理しております。

小さなお子様からご年配の方まで、どなたさまにもお楽しみ頂ける体に優しい日本料理を、温かいおもてなしとともにご提供させて頂いております。

うみさち.comでは、きじまの店舗と同様に日本料理のプロが手作りしたお届け料理やお惣菜をはじめ、こだわりの商品をお届けしております。皆様の毎日に彩りと豊かさを添え、健やかな日々をお送り頂くための商品を取り揃えております。

きじまがお届けする商品は、自然の営みの中で大切に育まれた価値ある食材をひとつひとつ吟味し、化学調味料・各種エキス類・保存料・合成着色料・合成香料などを一切使わない、無添加で体に優しい手作りのお料理です。

ASC認証ギンザケを使用した五目ご飯や、ASC認証ブラックタイガーを使用した和風トムヤムクン魚醤仕立てなどが販売されておりますので、是非ご利用くださいませ。



きじま うみさち.com

URL: <https://www.umisachi.com/>

商品PR

ASC（水産養殖管理協議会）ジャパン
<https://jp.asc-aqua.org/>

このニュースレターに関する問い合わせ先
担当：川田 直美

Email: naomi.kawata@asc-aqua.org

記事を二次利用されたい方は、お問い合わせください

※配信停止をご希望の方は、[送信元](#)へ「配信停止」とご連絡ください。